

第 51 回 緊急時対策指針検討会 議事録

1. 開催日時 2020 年 8 月 18 日(火) 10 時 00 分～12 時 00 分
2. 開催場所 日本電気協会 4 階 C 会議室 (Web 会議併用)
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
出席委員: 卜部主査(東京電力 HD), 山本副主査(関西電力), 迫田(九州電力),
鈴木(東北電力), 曾根(中部電力) (計5名)
代理出席: 清水 (四国電力 井門代理), 佐々木(北海道電力 小川代理),
市原(日本原子力発電 前田代理), 安部(中国電力 三村代理) (計4名)
欠席委員: 山田(北陸電力) (計1名)
常時参加者: 高井(原子力安全推進協会), 山本(日本原子力研究開発機構),
岩城(関西電力), 梅田 (日本原子力発電) (計4名)
事務局: 葛西 (日本電気協会) (計1名)
4. 配付資料
資料 51(1)-① 原子力規格委員会運転・保守分科会緊急時 (旧防災) 対策指針検討会委員名簿
資料 51(1)-② 緊急時対策指針検討会 (出欠, 場所) r 2
資料 51(2) 第 50 回 緊急時対策指針検討会 議事録 (案)
資料 51(2)参考 1 第 42 回運転・保守分科会議事録 (案)
資料 51(2)参考 2 JEAG4102 「原子力発電所の緊急時対策指針」改定案に関する書面投票の結果
について
資料 51(2)参考 3 JEAG4102 改定案 (最終報告) に関する運転・保守分科会から頂いた意見等
資料 51(3)-① 文書用語チェック (規格委員会前) の結果について (分科会報告用)
資料 51(3)-② JEAG4102 「原子力発電所の緊急時対策指針」改定案に関する書面投票の結果
について
資料 51(3)参考 4 第 74-4 回原子力規格委員会 議事録 (案)
資料 51(4)-1-① JEAG4102 改定案 (最終報告) に関する原子力規格委員会から頂いた意見等
資料 51(4)-1-②-1 緊急時対策指針検討会での公衆審査前の文書・用語チェックの気づき事項と対
応方針 (案): 検討会用
資料 51(4)-1-②-2 緊急時対策指針検討会での公衆審査前の文書・用語チェックの気づき事項と対
応方針 (案): 分科会, 規格委員会 3 役用
資料 51(4)-1-③ 原子力発電所の緊急時対策指針 JEAG 4102-202X (公衆審査用)
資料 51(4)-2-① 規約抜粋: 転載許諾の有無と計算式の有無について
資料 51(4)-2-② 規格案に対する意見受付交付について
資料 51(4)-3 規約抜粋: 公衆審査での意見対応について
資料 51(4)-4-① 発刊までの作業の共有 (巻頭言)
資料 51(4)-5 規約抜粋: 発刊後の誤記発生時について

- 参考資料 1 学協会規格に関する今後の取りくみについて
参考資料 2 原子力関連学協会規格に対する事業者の取り組みについて
参考資料 3 学協会規格リスト（日本電気協会）

5. 議 事

事務局より、本会にて、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後、議事が進められた。

(1) 代理出席者、常時参加者、説明者、オブザーバ、委員定足数、配布資料の確認

事務局から配付資料の確認の後、代理出席者3名の紹介があり、主査により承認された。出席委員数は代理を含め9名で、決議に必要な「委員総数の3分の2以上の出席(7名以上)」を満たしていることが確認された。

(2) 変更委員の紹介等

事務局から、資料 51(1)-①に基づき、下記委員交代の紹介があり、分科会への提案について承認された。

- ・ 小川 委員(北海道電力) → 佐々木 委員候補(同左)
- ・ 前田 委員(日本原子力発電) → 市原 委員候補(同左)
- ・ 三村 委員(中国電力) → 安部 委員候補(同左)

事務局から資料 51(1)-①に基づき、下記常時参加者の交代の紹介があり、検討会にて承認された。

- ・ 宮崎 常時参加者(九州電力) → 林 常時参加者候補(同左)

(3) 前回議事録の確認

事務局から、資料 51(2)に基づき、前回議事録案を紹介し、一部修正し正式版とすることを挙手により承認された。

(4) JEAG4102 に関する原子力規格委員会審議結果について

事務局から、資料 51(3)シリーズに基づいて、JEAG4102 に関する原子力規格委員会審議結果について説明があった。

主な説明は以下のとおり。

- ・ 第 74-4 回原子力委員会に上程する前に再確認を実施し、分科会長に確認頂いた。
- ・ 原子力規格委員会に上程し、書面投票に移行することで承認された。
- ・ 規格委員 28 名中 26 名の投票があり、全員賛成と言う事で可決された。
- ・ 賛成票の中で 3 件意見が出さてたが、対応済みとなっている。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 原子力規格委員会に説明時の質問は 1 件あり、規格本体が 228 頁となっているが、その理由に関するものだった。

(5) JEAG4102 に関する原子力規格委員会審議結果後の対応について

a. 原子力規格委員会書面投票での意見対応について

事務局より、資料 51(4)-1-①に基づいて、原子力規格委員会書面投票での対応につい

て説明があった。

主な説明内容は以下のとおり。

- ・原子力規格委員会から得た意見は 3 件あり、1 件は記載の修正、2 件は最新動静の JEAG4102 への反映に関する質問であった。
- ・対応策として、記載の修正に対してはご指摘通り修正し、最新動静の反映に関しては改定スケジュールを検討することとした。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・まず、原子力規格委員会で得た意見に対する対応について意見を伺いたい。

- 特に異論がなかったため、規格案の意見対応および文書用語チェックに関して、挙手にて決議した結果承認された。

b. 公衆審査までの規格の進め方について

主査より、公衆審査までの進め方について説明があった。

主な説明内容は以下のとおり。

- ・8月5日に原子力規格委員会で承認され、公衆審査はその時点から3か月以内に実施する。
- ・新旧比較表は前回の JEAG と今回の JEAG の比較になるが、その中で7月15日の規格委員会からの変更箇所が分かる形のものを作成する。
- ・新旧比較表を反映した原本を作成する。
- ・作成した新旧比較表と原本を、分科会と規格委員会3役に説明する。
- ・期間的には新旧比較表と原本作成を2週間程度で実施する。

以上